



衆議院議員 長島昭久 プロフィール

○選挙区 東京都第21区（立川市・日野市・国立市・多摩市の一部、稲城市の一部、八王子市の一部）

○住所 190-0022 東京都立川市錦町2-2-5アオイビル3F
TEL 042-548-2700 FAX 042-548-2711
HP <http://www.nagashima21.net>
Email tokyo21@nagashima21.net
Twitter @nagashima21 LINE:@nagashima21
facebook www.facebook.com/aki.nagashima21
WeBLOG <http://blog.goo.ne.jp/nagashima21>

○本籍地 東京都立川市 ○出身地 神奈川県横浜市
○生年月日 1962年2月17日(寅年) ○家族 妻、娘2人

政 党 無所属

主な役職 2003.12~2004.9 衆議院安全保障委員会理事、テロ防止・イラク支援特別委員会委員、武力攻撃事態への対処に関する特別委員会委員
2004.10~2005.8 拉致問題特別委員会理事、文部科学委員会委員
2005.9~2006.9 衆議院安全保障委員会筆頭理事
2009.3~2009.10 海賊対処ならびにテロ防止・協力支援特別委員会理事
2009.9~2010.9 防衛大臣政務官
2010.9~2011.9 衆議院外務委員会筆頭理事
2011.9~2012.9 内閣総理大臣補佐官（外交及び安全保障担当）
2012.9~2012.12 防衛副大臣
2015.1~2015.9 衆議院外務委員会委員、科学技術推進特別委員会委員、安保法制特別委員会委員
2016.9~2017.4 衆議院文部科学委員会筆頭理事
2017.4 民進党を離党し無所属となる
2017.9 希望の党の結党に参画
2017.11~2018.5 衆議院文部科学委員会委員、希望の党政策調査会長
2018.5 希望の党解党に伴い、再び無所属。衆議院安全保障委員会委員

主要学歴 1984.3 慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1986.3 同 政治学科卒業
1988.3 慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了（憲法学）
1997.5 米国ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院（SAIS）修士課程修了

職 歴 1989.4~1992.3 東京文化短期大学非常勤講師（憲法学）
1990.2~1993.6 衆議院議員石原伸晃公設秘書
1992.7~1993.4 平成政策研究所主任研究員
1993.9~1995.4 米国ヴァンダービルト大学客員研究員
1997.8~1999.12 米国外交問題評議会研究員（日本人初・アジア安全保障研究）
2000.1~2000.12 同 上席研究員（非常勤）
2000.11~2001.10 東京財団（現：東京財団政策研究所）主任研究員
2003.1~2003.11 海上保安庁政策アドバイザー
2010.9~2014.3 慶應義塾大学法学部講師（非常勤）
2006.4~2017.6 中央大学大学院公共政策研究科 客員教授
2010.6~ 現在 日本スケート連盟副会長・国際部長兼任
2017.6~ 現在 日本スポーツ協会理事

賞 罰 第3回「読売論壇新人賞」最優秀賞（1997年）

選挙歴 2000.10 衆議院補欠選挙に敗北。落選翌朝から街頭演説、浪人生活3年間。
2003.11 第43回総選挙で衆議院初当選
2005.9 第44回総選挙で衆議院2期目当選
2009.8 第45回総選挙で衆議院3期目当選
2012.12 第46回総選挙で衆議院4期目当選
2014.12 第47回総選挙で衆議院5期目当選
2017.10 第48回総選挙で衆議院6期目当選

主要著作 『覚悟-さらば民進党、真の保守を目指すために』（ワニブックス、2017年6月）
『「活米」という流儀-外交・安全保障のリアリズム』（講談社、2013年10月）
『日米同盟の新しい設計図-変貌するアジアの米軍を見据えて-』（日本評論社、2002年、[第二版]2004年）
【共著】『国防の論点-日本人が知らない本当の国家危機』石破茂、森本敏との共著（PHP研究所、2007年）
【共著】『図解アメリカのしくみ-この国がわかれば明日の世界が見えてくる!』柳沢賢一郎（編著）（中経出版、1999年、[Version 2] 2002年）
【共著】『日米同盟-米国の戦略』マイケル・グリーン、パトリック・クローニン（編著）、川上高司（翻訳）（勁草書房、1999年8月）原書 THE U.S - JAPAN ALLIANCE: PAST, PRESENT, AND FUTURE, edited by Michael J. Green and Patrick M. Cronin (The Council on Foreign Relations, Inc, 1999)
【共著】『安全保障のビッグバン』（第3回読売論壇新人賞入選論文集）（読売新聞社、1998年）